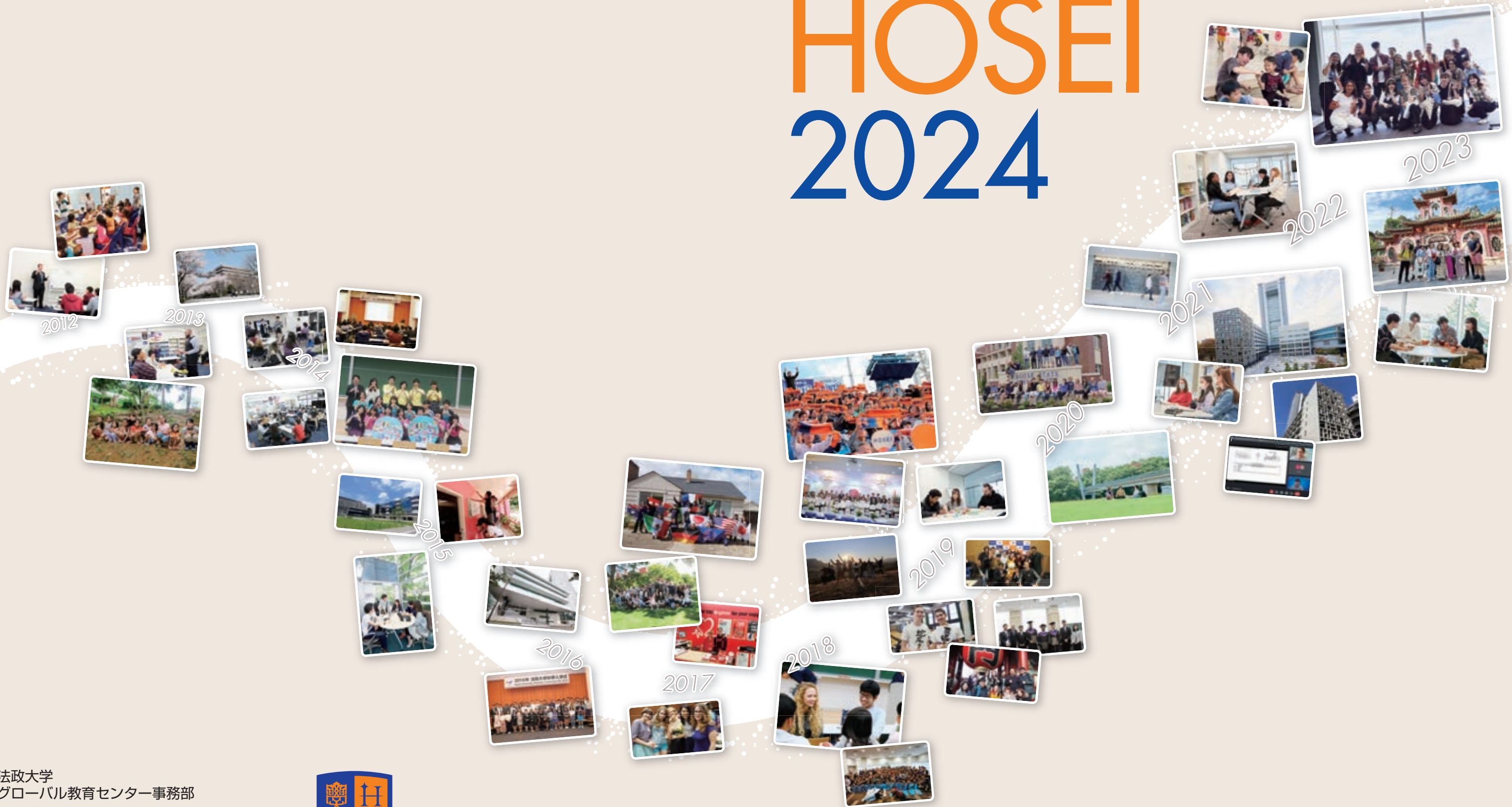


GO GLOBAL HOSEI 2024



法政大学
グローバル教育センター事務部

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL : 03-3264-4088 E-mail : globaledu@hosei.ac.jp
<https://www.global.hosei.ac.jp/>

2024年3月発行



本学が2014年に採択された文部科学省「スーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業」は、2023年度に最終年度を迎えました。10年間の取り組みの結果、海外交流協定校数の増加や留学支援等の奨学金制度の充実、英語で学位を取得出来るコースの新設等、より多くの学生がグローバルな経験を得られる環境を整えてきました。新型コロナウイルス感染症の影響によっていったん縮小されていた留学生の派遣や受入れも、ほぼコロナ禍前に近い水準まで回復することが出来ています。コロナ禍で得たオンラインという方法により、従来よりも容易に距離を超えることが出来る環境も整ってきました。国際紛争等の変動要因に対応出来る危機管理策のさらなる強化を図りながら、安心してグローバルな活躍の場を追求していくことが出来る大学としてこれからも歩みを続けてまいります。

法政大学 総長
廣瀬 克哉



INDEX	
巻頭.....	01
SGU成果報告	02～04
グローバル人材育成のイメージ.....	05～06
語学教育プログラム.....	07～08
国際交流プログラム.....	09～10
外国人留学生の受入れ.....	11～12
学生の海外派遣.....	13～15
国際キャリア支援プログラム.....	16
海外交流協定大学.....	17～18

スーパーグローバル大学創成支援事業

10年間の取組概要

法政大学は、2023年までの10年間をかけて「スーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業」に取り組んで参りました。全学が一体となってグローバル化を推進してきた取り組みと結果の一部を紹介します。

SGU構想の名称

課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成

SGUの取組を通じて目指す大学の将来像

本学の構想の中心である「サステイナブル社会」は、多くの課題を先行的に体験してきた日本であるからこそ、真摯な研究と教育の対象になり得ている。世界的な規模で多様な研究を本学に集結させ、自然環境のみならず、高度な教育を通じた安定的な就業による社会の持続可能性や、長い歴史と多様な展開をしてきた文化の持続可能性を含め、日本だからこそなし得る「日本発」のサステイナブル教育の確立と発信を通じて、我が国社会のグローバル化を牽引する大学を目指す。

SGU構想の概要

- 世界のどこでも生き抜く力を備えたフロントランナーを育成する
- 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル社会への発信力を強化する
- サステイナブルなグローバル社会の基礎作りに向けた中等教育機関を支援する
- サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおしを推進する
- グローバル社会の変化に迅速に対応・意思決定できる体制を構築する

法政大学SGU構想概念図

日本の知見を世界へ 人間力豊かなグローバルリーダーを育成

課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化 世代間格差・雇用問題 etc



産業構造の転換 エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行するモデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されている。
法政大学では「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざす。

5つのキーワード

大規模私大
グローバル化モデル

サステイナブル
社会

課題解決型
フィールドワーク

世界のどこでも
生き抜く力

学生協働の
グローバル展開

法政大学の取り組み

「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロントランナーを育成する教育プログラム

サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし

サステイナブルなグローバル社会の基礎作りに向けた中等教育支援

「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル社会への発信力の強化

グローバルな社会の変化に迅速に対応し意思決定ができる体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神でなにごとにも絶えず挑戦し、新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かなリーダー育成、最先端を行く高度な研究を推進する

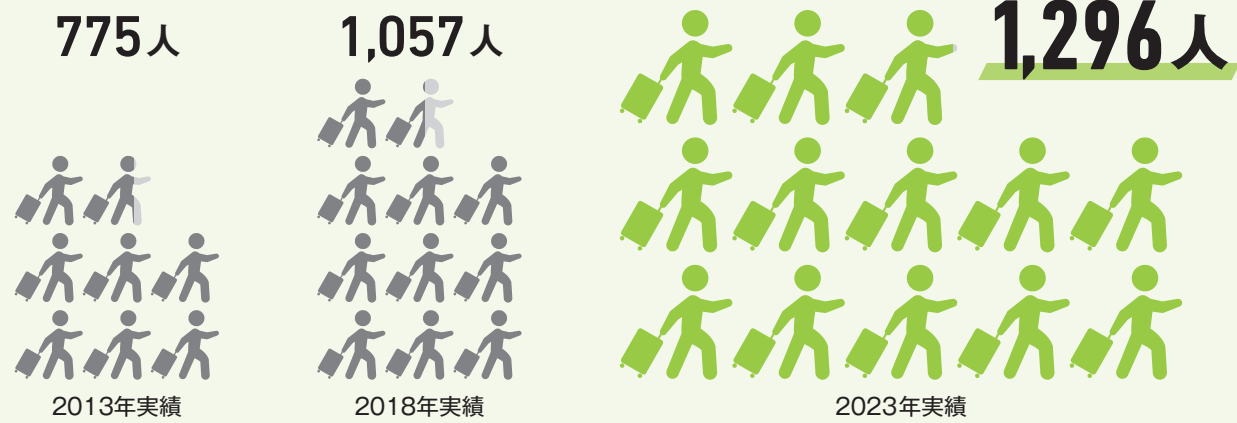
教育と研究を社会に還元、持続可能な地球社会の構築に貢献する

10年間の主な取組の結果

01

日本人学生に占める留学経験者数

2013年度に比べ、2023年度は1.6倍。

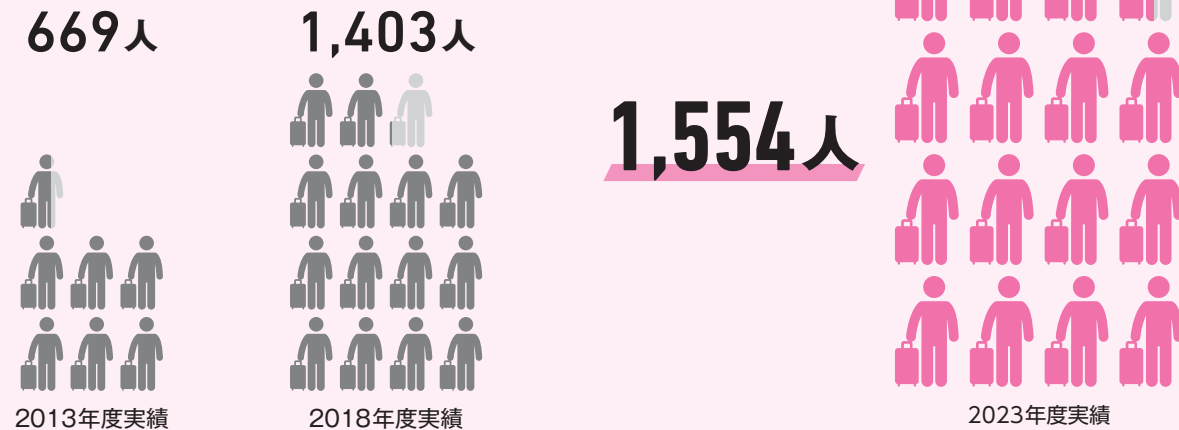


※2023年度実績については見込値

02

全学生に占める外国人留学生数

2013年度に比べ、2023年度は倍増。

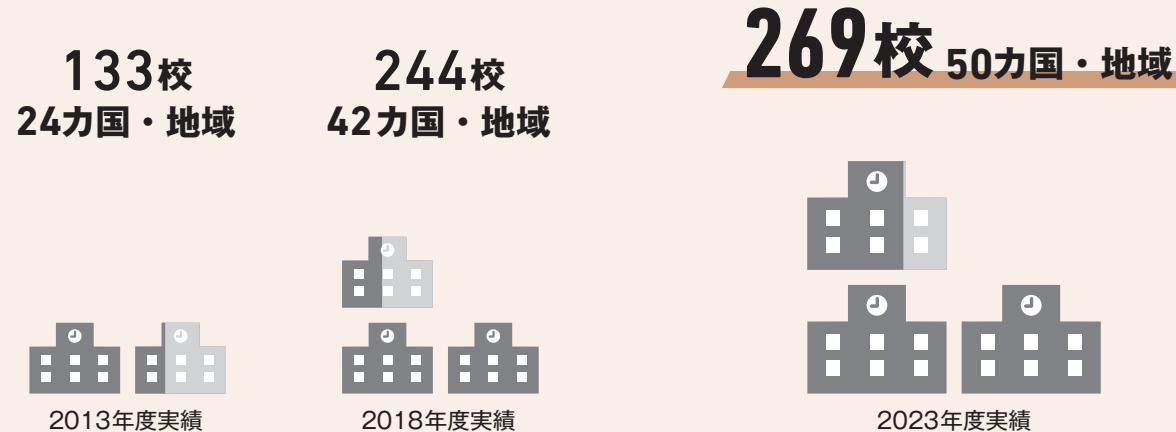


※2023年度実績については見込値

03

協定校数及び協定国・地域数の推移

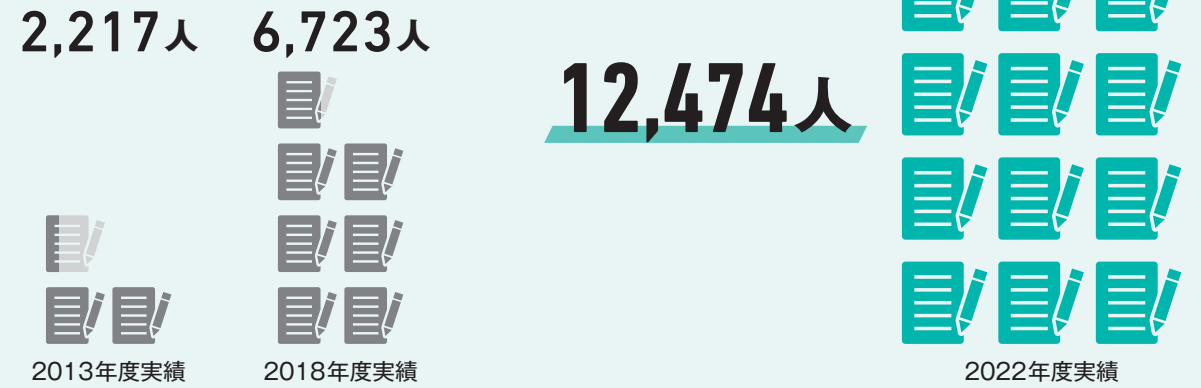
2013年度に比べ、2023年度は校数、国・地域数ともに倍増。



04

外国語力基準を満たす学生数

法政大学が定める外国語力基準を満たす学生数は、2013年度に比べ5.6倍。
※CEFRを活用し、「自立した言語使用者」とされる「B1 (TOEFL®ITP 500 相当以上)」レベルを外国語力基準とする。



05

外国語による授業科目数

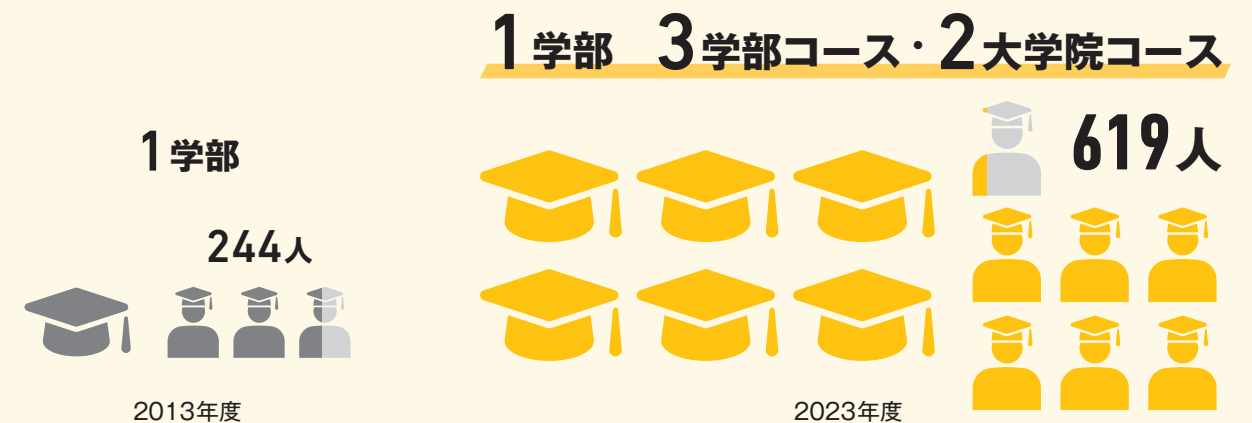
語学習得の授業以外で、外国語で実施される授業を多数用意している。



06

外国語のみで卒業できる学部・コースの数

1学部・5コースの特色のある英語による学位コースを提供している。



法政大学のグローバル化はこれからも続いていきます。

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、
既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、
持続可能な地球社会の構築に貢献出来る国際的な人材の育成を目指します。
実践的な語学教育、学内外での国際交流、
海外留学等、多彩なプログラムを用意しています。

1 年次

語学力と異文化 理解力を養成

- ERP (英語強化プログラム) P7へ
- Gラウンジ P8へ
- 国際ボランティア P15へ
- 短期語学研修 P14へ

2 年次

語学力を生かして 専門知識を習得

- ESOP (交換留学生受入れプログラム) 科目 P12へ
- 学部教育課程における海外留学 P14へ
- グローバル・オープン科目 P8へ

3 年次

学んだ知識を 海外で実践

- 派遣留学・認定海外留学 P13,14へ

4 年次

グローバル社会で 生きる力へ!

- 国際インターンシップ P15へ
- 国際キャリア支援プログラム P16へ

国際機関への
就職・活躍

海外
大学院

50の国・地域から集まる留学生と学内で交流し、
国際理解を深めていきます。

留学生と
交流する

ERP (英語強化プログラム) 等を受講 P7へ

市ヶ谷、多摩、小金井の全キャンパスで「ERP (英語強化プログラム)」を実施しています。
全て英語で行われる少人数の授業です。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることが出来ます。



グローバル・オープン科目等を履修 P8へ

グローバル・オープン科目やESOP (交換留学生受入れプログラム) の科目を受講することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことが出来ます。



Gラウンジを活用 P8へ

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことが出来ます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学生と交流する P8,12へ

法政大学には多くの外国人留学生在籍しています。GラウンジやHUBs等で積極的に外国人留学生と交流することで、学内にいながらにしてグローバルな視点を養うことが出来ます。



派遣留学等に参加 P13へ

留学等の海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際ボランティア・インターンシップに参加 P15へ

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を生かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことが出来ます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



国際キャリア支援プログラムに参加 P16へ

将来、国際的な企業や機関で活躍したいと考えている学生を対象に在籍年次に応じた適切なセミナーを実施し、各種参加プログラムにおける学びを国際的なキャリアプランに結びつけて考える機会を提供します。



語学教育プログラム

法政大学では、様々なレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽に英語学習アドバイザーと英会話を練習できるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目等があり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことが出来ます。



ERP（英語強化プログラム）

English Reinforcement Program

英語スキルの養成、およびその技能統合を目的とした英語強化プログラムです。全ての授業は英語で実施されます。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。所属学部により、受講した科目は単位認定されます。2023年度は春・秋学期と合わせて、スプリングセッションでも集中講座を開講しました。

■ERP科目例

レベル	春・秋学期開講科目
CE1	Oral Presentation & Discussion: Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Intermediate I,II
CE2	Oral Presentation & Discussion: Higher-Intermediate I,II
	Writing & Discussion: Higher-Intermediate I,II
CE3	Oral Presentation & Discussion: Advanced I,II
	Writing & Discussion: Advanced I,II

*英語スコアによってレベル分けを行っています。

スプリングセッションでは、4時限×8日間、少人数で英語力向上を目指し切磋琢磨します。「Intensive English 1」「Intensive English 2」の2科目が開講され、英語スコアによって2つのレベルに分け、専用のテキストを使用して学びます。春休みの期間を有効に利用して、留学準備や英語テスト対策に役立てようと頑張る学生が見られます。

-  **1** listening・speaking
reading・writing
4技能統合型のカリキュラム
-  **2** All Englishの
授業実施
実践的な英語力の養成
-  **3** 少人数授業
1クラス15名程度の双方向授業



Voice

茶谷 和樹さん 文学部 地理学科 3年（2023年度）

大学入学後、留学に対する漠然とした憧れを抱いていた私は、「英語強化プログラム」という名前に惹かれてERPを受講しました。受講してとても良かったと感じています。授業は、ほとんどの時間が学生同士のディスカッションで、学んだ表現をすぐに実践できます。また、少人数クラスで先生や他の学生との距離が近く、留学を志している人も多いためモチベーションが高まります。学部や学年に関係なく同じクラスで学ぶため、縦横のつながりが広がるのも魅力的です。Gラウンジを利用するようになったのも、ERPで仲良くなった先輩に紹介していただいたのがきっかけでした。英語を日常的に使うため、お昼休みや授業の空きコマに通っていました。とてもオープンな雰囲気でお気軽に利用できます。Gラウンジで仲良くなった留学生と遊びに行ったりもしました。外部の有料サービスを使わずに英会話できるようになったのは、ERPとGラウンジのおかげです。

Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーと日常的なコミュニケーションの機会を持つことが出来、実践的な語学力を身に付けられます。英語学習アドバイザーが市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの各Gラウンジに授業期間の週4日1日3時間常駐し、対面・オンラインどちらでも参加出来るよう準備の上、継続的な英語学習支援の場を提供しました。英語に苦手意識のある学生を対象にした初心者向けの時間を設け、これから英語学習に力を入れたい学生も英語に親しめる環境を用意しています。



グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。ERP等により一定以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるグローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることが出来ます。（一部科目において履修に英語力基準を設けている場合があります。）

2023年度開講科目例

- World Politics
- International Society and Environmental Issues
- Global Society I / 2
- Japan and the Global Economy A / B
- Race, Class and Gender I / II
- International Business
- Brand Management
- Civil Society and NGOs
- Multicultural Translation through English I / II
- English Reading and Vocabulary I / II

TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC®IPを年1回、実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上に繋がります。2023年度は期間内であれば好きな時に受験が可能なオンライン形式で実施し、多くの学生に受験機会を提供することが出来ました。

TOEFL®・TOEIC®・IELTS講座

春学期・秋学期中に受講出来る有料の英語試験対策講座です。英語圏留学を目指す学生対象のTOEFL®iBT講座・IELTS講座と、ベーシック・インターミディエートの2レベルで展開するTOEIC®L&R講座があります。各講座ともに全10回（週1回クラス）の集中授業をオンラインにて実施しました。



グローバル・ポイント制度

この制度は、各種語学教育プログラムや派遣留学、SA・短期語学研修、国際交流ボランティア活動など大学が指定する対象プログラムへの参加についてポイントを付与することで、学生の皆さんがそれぞれの活動状況を把握し、今後の学習に役立てることを目的としています。各種プログラムに積極的に参加し、一定のポイント数を獲得した方についてはロールモデルとして表彰し、大学のグローバル化を一層推進していきます。



国際交流プログラム

語学力の向上や国際理解を深めることを目的に、様々な海外大学との交流やグローバルイベントを実施しています。また、2021年度より海外協定校の学生と英語・日本語での会話を楽しむオンライン言語交換プログラムを開始しました。



海外大学生とのオンライン言語交換プログラム (Language Buddy Project)

2021年度より開始した、海外協定校の学生とペアになり6週間以上にわたってオンラインで英語・日本語双方でのコミュニケーションを楽しむ言語交換プログラムです。春学期と秋学期の2ピリオド実施し、具体的な実施スケジュールや方法、会話のテーマ等は各ペアで相談して自由に決めることが出来ます。英会話の能力を向上させたい方だけでなく、言語・文化の異なる友人をつくりたい方や、将来海外留学に挑戦してみたい方にも適したプログラムです。

2023年度はアメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア、オランダ、スペイン、タイ、チェコ、パキスタン、フランス、メキシコ、ロシアの計12カ国の海外大学と実施し、春学期・秋学期合わせて計約200ペア・440名の学生が参加しました。実際に本プログラムに参加した学生からは「日本と違う食文化や学校生活について話し合うことができ、異文化理解に繋がった」、「今まで海外大学生と英語で話す機会に乏しかったので、会話力に不安を抱いていたが、実際話してみると確かなコミュニケーションを取れている実感が持て、自信に繋がった」といった声が寄せられました。

法政グローバルデイ

約50名の学生実行委員が主体となり、企画から運営までを行う国際系イベントです。

国際的な舞台で活躍する実務者を招いて講演いただき、様々な取り組みを紹介するほか、学生企画での意見交換、問題提起等を通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。

2024年度は「Borderless」をテーマに企画・準備を進めています。5月開催ですのでぜひご参加ください。

2023年度実施内容

- ・グローバルポイント制度表彰
- ・グローバル教育センターが主催するプログラムの紹介
- ・ゲスト講演「グリーンウォッシュを知る」
- ・「国際問題」、「文化」、「言語」、「留学生」、「サブカルチャー」等、各テーマに沿った学生ワークショップ



Voice

今回のグローバルデイにおいて、実行委員長を務めさせていただき、様々な貴重な経験をすることが出来ました。

特に、本番に向けてスムーズに準備を進める際、実行委員同士の意思疎通が重要であると実感しました。5月の開催に向けて、春休み期間を有効活用し、話し合いを進めていくことが難しかったですが、グループごとのミーティングの形式を、オンラインから徐々に対面に切り替えたことで、円滑なコミュニケーションを取ることに繋がりました。また、前年から引き継がれた、約10人のコメンター同士では、新規メンバー募集の前から、多くの話し合いを重ね、助け合って準備を進めていきました。

当日は、専門家の方をお招きした講演会や、テーマごとにオリジナリティのある教室企画を通して、実行委員・参加者の皆様・留学生と交流を深めることが出来ました。

今後の実行委員や参加者の皆様には、10年以上続く本イベントを、これからも更に盛り上げていただきたいと思います！



木村 愛理さん(写真右から3番目)

法政グローバルデイ2023実行委員長
法学部 国際政治学科 3年生(2023年度)

スピーチコンテスト

「第9回法政大学日本語スピーチコンテスト」(ベトナム) (主催：法政大学 共催：ハノイ国家大学外国語大学)

本コンテストはベトナムの高校生・大学生を対象に、日頃の日本語学習の成果を発表する機会を提供することを目的として、2015年度から毎年度開催しています。第1回から通算して1,600人を超える生徒・学生が参加してきました。

ハノイ国家大学外国語大学をメイン会場として2023年11月25日に開催された決勝審査では、応募者245名のうち、予選を通過した20人が「あなたが作る理想の学校」をテーマにスピーチを行いました。

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本学からの審査員はオンラインで参加していましたが、今回は4年ぶりに現地で参加することができました。最優秀賞、優秀賞を受賞した4名(大学生3名、高校生1名)には副賞として日本へ招待することが伝えられ、2024年3月に来日して、日本語や日本文化の学びを深めてもらう予定です。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで行われている、留学生と日本の学生が交流を深めるイベントです。国際交流サークル「FiTus(フィタス)」と各国留学生会が主体となり、留学生による母国の文化紹介や、参加者同士で懇親を深めるゲームを開催しています。2023年度は約60名の学生・教職員が出席し、各国・地域の文化を体験しながら交流しました。

2023年度実施内容

中国の輪投げゲーム、韓国の文化に関するクイズ大会、海外のお菓子を楽しむ懇親会、ジェスチャーゲーム等



「第40回留学生日本語スピーチコンテスト」(法政大学)

2023年11月18日に留学生の日ごろの日本語学習の成果を披露する場として、本学で4年ぶりに留学生日本語スピーチコンテストを開催しました。留学生1名に対して2〜3名の日本人学生スタッフが付き、チームで原稿作成や練習を行って全員でコンテストを作り上げることが本イベントの特徴です。

当日は9名の留学生が「みんなに知ってもらいたい私の故郷」をテーマにスピーチを披露しました。

留学生の出身国は、中国、韓国、ベトナム、ウズベキスタン、イタリアとさまざまで、スピーチを通して多様な文化について学ぶことができました。参加した留学生からは、「入賞するかどうかわ関係なく、とても良い機会になった」「他の留学生のスピーチを聞いてもっと日本語を上達させたいと思った」などの声がありました。日本人スタッフからは、「母国語ではない言語でスピーチを考え、覚えようと頑張る留学生の姿に勇気もらった」「留学生の積極さ、日本語学習と向き合うパワフルさが凄く、刺激を受けた」といった声があり、本コンテストを通して、それぞれ学びや刺激があったようです。



総長杯英語プレゼンテーション大会

本学付属校(法政高校・法政第二高校・法政国際高校)の生徒を対象に、自分の考えを英語で発表する機会を設けるため、英語プレゼンテーション大会を開催しています。本大会は、2016年度に開始し、これまで延べ113名の付属校生が参加しました。2023年度の第8回では「SDGsの達成に向けてー世界で今起きていること、わたしたちができることーWhat Can We Do to Achieve the 17 SDGs?」をテーマに、大学教員、付属校教員及び本学の外国人留学生による審査のもとで、合計9組18名の付属校生が英語でプレゼンテーションを行いました。



外国人留学生の受入れ

多様な学生の受入れ実現を目標とし、キャンパスのさらなるグローバル化を目指しています。
また、学生が国内で国際交流出来る機会を提供するため、受け入れた留学生や海外大学との交流を実施しています。



外国人留学生 (正規留学生受入れ)

学部・大学院合わせて1,122人(2023年5月1日時点)の留学生が日本人学生と共に勉学に励んでいます。本学では、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えており、在留資格の取得・更新のサポート、授業料減免制度や各種奨学金の紹介、日本での就職を目指す留学生に向けた企業説明会等も積極的に実施しています。また、コロナ禍を機に取り入れた学生の各種申請や説明会等のオンライン対応も継続しており、学生達の利便性向上も図っています。近年では新規奨学金の創設、英語による学位コースの設置等を行い、多様な学生の受入れを目指しています。

法政大学総留学生会

留学生が互いに親睦をはかり、学業達成のために協力しあうことを目的として自主的に運営している組織です。学部留学生は全員が総留学生会の会員となります。総留学生会は主に中国、韓国、台湾留学生会などから構成され、それぞれが新入生歓迎会や夏合宿、スポーツ大会など毎年多種多様な交流活動を実施しています。活動内容に応じてグローバル教育センターが費用の補助も行っています。また、12月には年1回の総会が開催され、次年度の役員選出や活動方針の報告を行います。



Voice

私は異文化や国際関係に興味があったため、留学することで新しい言語や文化を学びながら、今までの世界観と異なる物の見方を身に付けたいと考えていました。特に、政治・国際政治に関心を持っていたため、各国と外交を行える重要な国際的アクターである日本への留学を決心しました。まずは、自身の語学能力を高めるために日本語学校に通い、その後2021年に法政大学法学部に入学しました。大学入学後、私は政治や国際政治により深い関心を持つようになり、日本と諸外国の政治に関する授業を履修してきました。また、ゼミや、学内で開催された「国連職員セミナー」「グローバルデイ」「ラウンジ」等の交流イベントにも参加し、さまざまな話を聞き、多様な人にも会うことで、物の見方や考え方を広げることができました。入学当初は、一人でいることもありましたが、大学内で日本人学生や外国人留学生と交流する機会、場所が多かったため、3年間を通して多くの出会いがありました。卒業後は日本での進学、就職を目指しています。大学院では、日本を中心とした東アジアの安全保障と平和維持に関するテーマを研究したいと考えています。今までの留学経験を通して多くの学びがありました。これからも日本で多くのことを学べることを楽しみにしています。



Deschryver Larralde Printza
(デスクリベル ララルデ プリンサ) さん
外国人留学生 (フランス)
法学部 政治学科 3年生 (2023年度)

ウクライナからの留学生受入れ

昨今のウクライナ情勢の危機的な状況に鑑み、人道的な支援として、学修の継続を希望するウクライナの学生に学修機会を提供するために、2022年9月より4名の学生を受け入れています。当初は非正規生としての受入れでしたが、避難が長期化する中、正規課程に入学が決定し学位取得に向け勉学に励んでいます。またウクライナの文化等を紹介するイベントを実施し、本学学生との交流を深めながら、国際情勢を知る機会を提供してくれています。ウクライナでの生活基盤が再建されるまでは、まだ長い期間を要することが予想されます。今後も「ウクライナ避難学生支援募金」等の支援をいただきながら、ウクライナからの留学生の支援を継続することを検討しています。

ウクライナ避難学生支援募金の詳細：
<https://www.global.hosei.ac.jp/news/news-2023-33760/>

奨学金 (指定国留学生・グローバル奨学支援)

多様な国籍、背景を有する外国籍学生の受入れを促進するため、2022年度より、「指定国留学生奨学金」と「グローバル奨学支援金」を新設しました。前者の奨学金では、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムのいずれかの国からの優秀な外国人留学生を受給対象としており、後者の奨学金では、経済的な事情により学業の継続が困難にも関わらず、日本国の公的機関からの奨学金の支援対象外となる在留資格「家族滞在」を有する外国籍学生を受給の対象にしています。本奨学金を受給した学生からは「指定国留学生奨学金のおかげで、大学進学に伴う費用負担が大きく軽減することができた」、「This scholarship (グローバル奨学支援金) not only eases my path through higher education but also inspires me to work diligently and make the most of this opportunity.」といった声が寄せられました。両奨学金は、国際化サポートを使途として寄付いただいた「リーディング・ユニバーシティ法政基金」を財源としています。

ESOP (交換留学生受入れプログラム)

本プログラムは、本学の海外協定大学から受け入れる、半期から1年間在籍する交換留学生および短期私費留学生のために1997年より開設された講座であり、日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を交換留学生向けに英語を用いゼミ形式で行っています。この科目は本学学生も受講可能であり、多くの学部が単位を認定しています。一定の英語レベルが求められ、課題も多いですが、英語力を向上出来るだけでなく、授業内で留学生と交流を深めることが出来、留学前の準備として日本社会や文化を理解することも出来、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。また、海外で授業を受けたことがない学生には、国内でも本授業を通じてグローバルな視点を身に付けることが出来るため、とても魅力的な授業になるでしょう。ぜひこの機会にESOP授業に参加し、学習を通じて国際交流の輪を広げてみてください。

Voice

Originally from Indonesia and currently studying in Sydney, Australia, I am very familiar with moving abroad. Tokyo is a city I have always wanted to visit since I love Japanese food and fashion. When I saw that going to Hosei University as part of the ESOP program was an option, I jumped at the chance. I had also heard good things from people about Hosei University which solidified my choice. I was a little nervous coming to Japan since I did not speak Japanese at all, but I decided to enrol in the Japanese classes here, which helped me a lot in my day-to-day life. I have met so many great friends here in Tokyo, both Japanese and people from all over the world. Being in Japan has been a life changing experience for me, and I cannot recommend it more to people who are considering coming here to study.



SOEWARDI Emerisさん (写真左下)
交換留学生 (インドネシア)
所属大学: Australian Catholic University
(オーストラリア・カンリック大学) 3年 (参加当時)

法政プロモーション・プロジェクト (Hosei Students×ESOP Students)

2022年度より、法政大学や日本へ留学したいと思う留学生を増やすことを目的に、法政大学の学生と交換留学生との共同プロジェクトとして「法政プロモーション・プロジェクト(Hosei Students×ESOP Students)」を立ち上げました。6名の学生メンバーは主にInstagramを利用して、法政大学や日本での留学生活等の情報を英語で海外に発信・PRしています。ぜひご覧ください。

Instagramアカウント: https://www.instagram.com/hosei_esop_tokyo/



HUBs (Hosei University Buddy system)

HUBs(ハブス) は、法政大学に入学する交換留学生とBuddy(バディ) を組み、留学生が在籍する半期または1年間、サポートを行うボランティアです。具体的には、学期前後に学習に関するアドバイス、出迎え、大学施設案内、口座開設、定期券購入、キャンパスツアー、イベント開催等様々なサポートを行い、コアメンバーが企画した交換留学生向けのパーティや体験イベント等も支援・参加します。この活動に参加することで語学学習の機会を得るだけではなく、国際交流を通じて留学生の視点で日本を見つめ直し、グローバル視点と異文化への理解を深めることが出来ます。2023年度は計268名の学生がHUBsに参加し、様々なイベントを実施・支援しました。本活動は、日本にいながら世界各国・地域からの留学生と交流を深めることが出来ることと、留学生の日本留学をかけがえのない思い出にするお手伝い出来るのが魅力です。

Voice

私は海外の友達をつくりたいと思いHUBsに参加しました。留学生は日本に来たばかりで、頼れる人も少なく、新しい環境に戸惑っている人が多いと思います。そんな中で、私は留学生をご飯や遊びに誘い、英語で会話し、時には日本語のフレーズを教えるなど、とても楽しい時間を過ごしました。写真は、留学生と一緒に箱根にドライブに行った時の写真です。彼らと英語で会話をしていると、自分の伝えたいことを伝えられない時が沢山あり、その悔しさが英語学習のモチベーションになっています。それだけでなく、彼らの行動力の高さ、将来のビジョンや価値観など、人としても多くのことを学びました。何より、母国語ではない英語で、海外の人と意思疎通ができる、というのは本当にすごいことだと改めて感じています。私にとって、彼らとの交流は、自分の将来にもつながる、大変貴重で楽しい経験になりました。皆さんもぜひ参加してみてください！



小川 音央さん (写真右端)
2023年度 秋季HUBs生 / 理工学部
電気電子工学科 4年生 (参加当時)

学生海外派遣

学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、様々な海外プログラムを実施しています。また、2021年度より入学後間もない学生を対象とした留学に対する奨学金制度を新たに開始しました。



派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

2023年度は、19カ国・地域52大学へ96名の学生が派遣留学に参加しました。

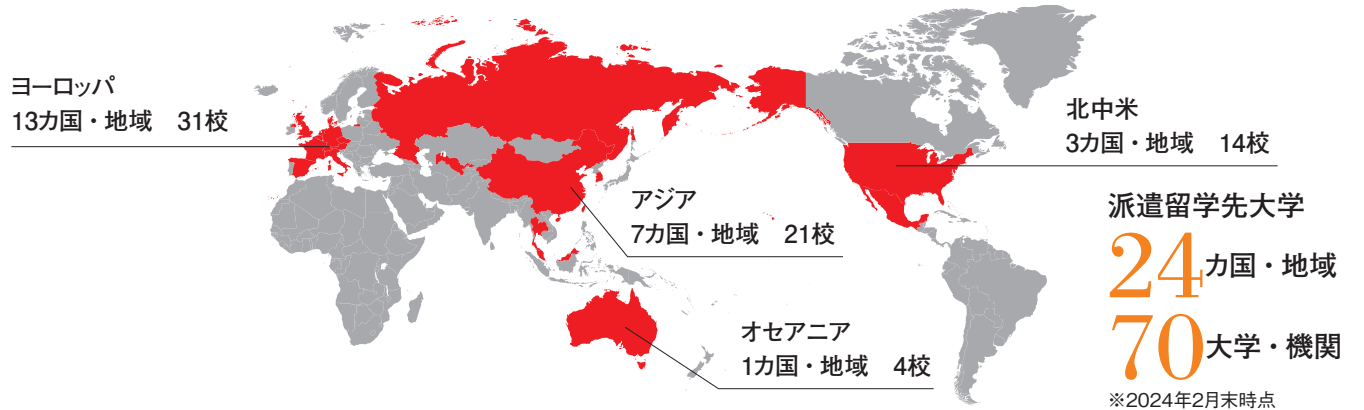
●派遣留学奨学金（半期留学の場合は半額支給）

アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、ベルギー、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、スウェーデン、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100万円
合格者全員

中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

70万円
合格者全員



Voice

実践的な学びで欧州の経営・経済知識を積み、広い視野で物事を捉えたいと思い派遣留学を決意しました。私の留学生生活を一言で表現すると、期待以上の経験と知識を得ることができた留学生活です。特に、授業は一方的な講義形式ではなく、ほとんどがディスカッションやプレゼンテーション中心で、毎回新しい視点や考え方を得ることができました。学習面以外は、大学の留学生向けのイベントなどに参加し、スイスの文化や自然環境を体験したことはもちろん、異なるバックグラウンドを持つ学生とお互いの将来について話し合い、人生の生き方が想像以上に多様であることを実感することができました。勉強量の変化で時間管理やストレスに悩まされ、スイスの冬の天気で体調を崩した時期もありましたが、大学の運動プログラムに積極的に参加したり、現地の学生にアドバイスを求めたりすることで、結果的には精神的にも体力的にも成長したと自負しています。留学していた約1年間で私の将来を決める上で大きな影響を与えたので、留学を検討している方には、貴重な機会を積極的に活用することをお勧めしたいです！



ジョンスヒョンさん（写真中央（話者））
2022年度サンクトガレン大学（スイス）
派遣留学生 経済学部 経済学科
4年生（参加当時）

Voice

留学の目的は、韓国視点での学びを得て視野を広げるためです。派遣留学では韓国の学生と同じ授業を受けることができる点に魅力を感じ、応募しました。留学を通して、授業と友人関係の両面から学びを得ました。まず、授業では高水準の韓国語力が前提であるため最初は苦労しました。しかし授業を録音して何度も聴き直し、教授や韓国入学生に質問するなど諦めずに努力を継続しました。結果、留学期間が半分過ぎると難しく授業を聞き取れるようになり、語学力の成長と粘り強い努力の重要性を実感しました。次に友人関係では、一歩踏み出す積極性を意識して行動しました。授業で近くに座った学生に声をかける、学外の日韓交流サークルに入るなど、留学生でなく韓国人との繋がりを作りました。友人との交流を通して、韓国での学生生活(小中高での経験)やキャリア観、日本に対する印象を知り、自分の世界が広がる感覚がありました。以上のように、粘り強さと積極性を意識した行動を通して、視野を広げて常識を見直すことができました。日本の当たり前が全てではないと知ったことで、将来選択の可能性も広まったと感じています。



大橋 ほの花さん（写真右端）
2023年度梨花女子大学（韓国）
派遣留学生 国際文化学部
国際文化学科 3年生（参加当時）

認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を経て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(30万円)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25～50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。

また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マンケート校（アメリカ）、オーストラリア・カソリック大学やボンド大学（オーストラリア）での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。※奨学金は半期留学の場合、半額支給。



【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】



短期語学研修制度

夏休みと春休みの2～4週間程度、語学力の向上を目指して、マレーシア・アメリカ・カナダ・オーストラリア（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語・夏季のみ）、フランス（フランス語）の各協定大学で実施する留学制度です。研修は各協定大学付属の語学機関にて行われます。学部や学年、語学レベルや学業成績にかかわらず、全ての学部生が応募可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者まで幅広く対応しており、初めて海外に行く方や、将来長期留学を考えている方にも適した制度です。また、課外活動や文化体験を通じて、留学先の社会や文化に触れることが出来るのも魅力です。学部によっては、所定の要件を満たすことで単位の認定も可能です。

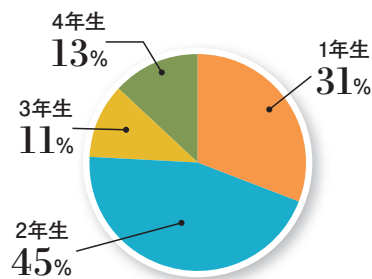
学部独自の留学・海外研修制度

14学部において、学部独自の留学制度であるスタディ・アブロード(SA)プログラムと学部の専攻に合わせた特徴のある様々な海外研修がカリキュラムに組み込まれて行われています。2023年度は法学部、文学部、経済学部、社会部、国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、キャリアデザイン学部、GIS、情報科学部の10学部で渡航によるプログラムを実施し、計533名の学生が参加しました。

独自の留学制度・海外研修制度を実施している学部

全14学部

学年別参加者比率（2023年度）



Voice

航空業界への就職を目指していた私は、渡航型の留学プログラム再開を心待ちにしていました。シドニーで3週間を過ごし、誰も「完璧な英語」など求めていないと体感できたことは、ただ良い成績を取るためだけに英語を勉強していた私にとって、非常に大きな学びであり発見でした。たどたどしくも、持っているボキャブラリーを全て使い必死に言葉を紡いだ経験は、確実に私の財産になっています。しかし英語への漠然とした抵抗感が取り払われた一方で、会話の中では何と言え良いか分からない悔しさも数多く経験しました。卒業後は客室乗務員としてのキャリアをスタートしますが、研修中に感じた楽しさをモチベーションに、今後も努力し続けます。短期でも、様々な人と交流でき、多くのインプットが得られる貴重な機会であることに変わりありません。語学スキルを高める第一歩としてきっと有意義な経験になるはずです。ぜひ勇気を持って挑戦してほしいと思います！



山口 波奈さん
2023年度夏季短期語学研修 Australian Catholic University (ACU) (オーストラリア) 参加
キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科 4年（参加当時）

国際ボランティア・インターンシッププログラム

様々な体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質をも身に付けるプログラムです。派遣先で必要とされる活動に参加し、相互に理解を深めながら取り組む「国際ボランティア」と、派遣先の企業や団体で就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで海外へチャレンジする学生を育てます。実施期間はプログラムにより異なりますが、夏季(8～9月) および春季(2～3月) 休暇中の2～4週間程度です。

Voice

現地での中心的な活動は、大学での日本語授業支援で、授業内支援や教材・テストの作成など行いました。学生はほとんどが将来日本で就職を希望しており、夢を叶えるための直接的なサポートをできる点は非常にやりがいを感じました。また、学生は日本への憧れが強く、私

は自分が日本人であることを初めて誇りに感じました。

この他、孤児院への訪問や海辺でのゴミ拾い活動にも参加しました。全ての活動を通じて、ベトナムの景観や人の温かさ、食文化など様々な魅力を感じたと共に、日本の魅力を再確認するきっかけにもなり良かったです。

プログラム参加前は英語のスピーキング能力に自信がなく、約1か月間Gラウンジを利用しました。英単語が分からない際に他の表現方法で「伝える」力は非常に重要であり、Gラウンジに通いそれがスムーズに出来るようになりました。

どのプログラムに参加する場合も、行動なしには何も始まりません。気になることがあれば、行動することから始めてみることをおすすめします。



小針 奈々さん(写真右)

2023年度夏季国際ボランティア(FPT大学・ベトナム) 参加
人間環境学部 人間環境学科 1年生(参加当時)

2023年度国際ボランティア・インターンシップ募集プログラム(一部)

- ・FPT大学共催国際ボランティアプログラム(ベトナム/ダナン)
約4週間のプログラム期間に、ティーチングアシスタント(NGO/NPOでのベトナム人学生への日本語・英語学習支援、ベトナム・ダナン市の日本語コミュニティの発展)、環境保全プロジェクト(ベトナム人の環境保護意識の向上を目的としたプロジェクトに参加)、孤児院訪問(ダナン市内の孤児院を訪問、日本語・英語の基礎教育や日本文化紹介を行う)の3つに取り組みます。
- ・ペイラー大学共催国際インターンシッププログラム(アメリカ/テキサス)
派遣先大学の日本語教員の指示のもと、日本語学習クラスにおいて言語練習を支援するとともに、日本文化および大学の紹介を英語で行います。その他、学生間交流やテキサス州で行われる日本語スピーチコンテストの補助、現地学生との協働フィールドワーク等行います。

海外留学ファースト・チャレンジ奨励金

学生の入学後、早期から自主的に海外留学・海外研修活動に挑戦することを奨励し、その後のさらなる国際交流活動を動機づけるため、2021年度より「海外留学ファースト・チャレンジ奨励金」制度を新設しました。本奨励金は、夏季・冬季・春季休業期間中に実施される、学外機関主催・提供の海外留学・海外研修プログラム(オンライン形式を含む)のうち所定の要件を満たしたものに参加・修了した学部1～2年生に対し、選考の上支給するものです。

実際に本奨励金を受給した学生からは「本奨励金制度のおかげで気軽にインターンシップに挑戦することができた」、「円安というご時世の中で費用を一部負担していただき助かった」といった声が寄せられました。

なお、本奨励金は、国際化サポートを用途として寄付いただいた「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の一部を財源としております。

Voice

垣田 隼一朗さん スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 2年(参加当時)

この度は、海外留学ファースト・チャレンジ奨励金を支給していただき、ありがとうございました。

私がこの夏参加したプログラムは、インドネシアの企業と環境に配慮した商品作りを行うものです。インドネシアと日本の学生と意見を出し合いながら、商品のアイデアを実際に企業の方に英語によるプレゼンで提案しました。

自分から積極的にコミュニケーションを取る力を身に付けることが参加の目的であり、学んだ事になります。オンラインの上、言語の異なる学生と意思疎通を図る事に苦勞し、誰かが自分に意見を求めてくれる事を待ってはいけな事を実感しました。初めは、自分から話す事が苦手でしたが自信を持って発言する機会を増やすことが出来た事は自信になりました。

今後は、英語力の向上を目指しながら、国際交流の場に足を運んでいきたいと思います。

国際キャリア支援プログラム

学生が留学等の海外プログラムでの経験を将来のキャリアに繋げ、グローバルに活躍する人材へと成長出来るよう、様々なセミナーやワークショップを実施しています。1年次から4年次まで、また、海外プログラムの参加時期に応じた段階的なプログラムを構成しています。2021年度より、キャリアセンターと合同で留学と就職活動の両立に関するオンラインセミナーを開催しています。在学中にグローバルな体験をしたり、卒業後にグローバルに活躍したりしている卒業生を招き、学生時代の活動や卒業後のキャリアについての講演、「Career Model Case Study」シリーズも開催しており、在学生にとって将来の道筋を描くための良い刺激となっています。

グローバル人材として
社会で活躍

- 採用直結型イベント
- 留学経験者向け学内企業説明会

海外プログラム参加後各種セミナー

学内外の海外プログラムに参加

海外プログラム参加前各種セミナー

海外留学・就職活動セミナー

Career Model Case Study (卒業生を招いた講演イベント)

1年次

2年次

3年次

4年次

2023年度プログラム実績

- ・海外留学と就職活動の両立に関するガイダンス(キャリアセンター共催) 各学期実施
- ・Career Model Case Study 計5回実施
- ・長期留学予定者向けキャリアセミナー 各学期実施
- ・海外院進学を選んだ卒業生による体験談イベント
- ・「在外公館派遣員」参加者による体験談イベント
- ・「外務省専門職員」内定者による体験談イベント
- ・「JICA海外協力隊」セミナー



海外交流協定大学

● 派遣留学 ● 短期語学研修 ● 学部SA*

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界50カ国・地域において、269大学・機関（2024年2月1日現在）との間で

学術一般協定、学生交換協定等を締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流
協定大学

269

※2024年2月1日現在

50カ国・地域

大学・機関

イギリス *United Kingdom*

ロンドン大学ロイヤル
ホロウェイカレッジ
シェフィールド大学 ● ●
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学 ● ●
ニューカッスル・アポン・
タイン大学 ●
サセックス大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
ヨーク大学
ロンドン大学バークベック ●
ウルヴァーハンプトン大学
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 ●
リヴァプール・ジョン・ムーア大学 ●
セントラル・ランカシャー大学 ●

アイルランド *Ireland*

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●

フランス *France*

リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ● ●
パリシテ大学 ●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学 ●
キャンパスフランス ●
サンジェルマン・アン・レー
政治学院 ●

スペイン *Spain*

バルセロナ大学 ●
ラモン・リュイ財団
ビック大学 ●
コルドバ大学 ●
EUSS
マラガ大学

ドイツ *Germany*

フンボルト大学
オルデンブルク大学
ロイファナリューネブルク大学 ●
ベルリン国際応用科学大学
バーデン＝ヴェルテンベルク・
デュアルシステム大学 ●
ブレーメン大学 ●
シュトゥットガルト工科大学 ●
ブレーマーハーフェン
応用科学大学

オランダ *Netherlands*

NHLステンデン応用科学大学 ●

ベルギー *Belgium*

カレル・デ・グローテ (KdG) 応用科学芸術大学 ●

スイス連邦 *Switzerland*

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
サンクトガレン大学 ● ●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門

スウェーデン *Sweden*

ブレーキンゲ工科大学 ●

デンマーク *Denmark*

ロスキレ大学
オールボー大学 ●

イタリア *Italy*

カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学
パヴィア大学

チェコ *Czech*

チェコ工科大学 ●

オーストリア *Austria*

ウィーン大学 ● ●

ハンガリー *Hungary*

コルヴィナス大学 (旧：ブダペスト経済大学)

ルーマニア *Romania*

バベシュ・ボヤイ大学

ポーランド *Poland*

社会科学大学
コスミンスキ大学

エストニア *Estonia*

タリン大学

アルバニア *Albania*

ティラナ工科大学

セルビア *Serbia*

ニシュ大学

ブルキナファソ *Burkina Faso*

ワガ第一ジョセフ・キ・ゼルボ大学

エチオピア *Ethiopia*

メケレ大学

アルジェリア *Algeria*

アルジェ大学

コートジボワール *Ivory Coast*

フェリックス・ウフェ・ボアニ大学

ケニア *Kenya*

カラティナ大学

チュニジア *Tunisia*

カルタゴ大学

エジプト *Egypt*

エジプト日本科学技術大学

ロシア *Russia*

ロシア科学アカデミー東洋学研究所
モスクワ国立大学 ●
サンクトペテルブルク国立大学 ● ●
ペテルブルク国立交通工科大学 ●
国立研究大学高等経済学院 ●
ベンザ国立大学

インド *India*

インド科学大学院大学

マレーシア *Malaysia*

アジアパシフィックテクノロジー
&イノベーション大学 ●
マラヤ大学 ●
マレーシア工科大学
UCSI大学 ●
マラ工科大学機械工学部
マレーシア科学大学
プトラマレーシア大学 ●

シンガポール *Singapore*

シンガポール社会科学大学

カンボジア *Cambodia*

カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立プノンベン大学

インドネシア *Indonesia*

サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学
ビーナス大学
アトマジャヤジョグジャカルタ大学
LSPRコミュニケーション&ビジネスインスティテュート
ムハマディア大学ジョグジャカルタ校 (UMY)

ネパール *Nepal*

トリバン大学

ウズベキスタン *Uzbekistan*

タシケント国立東洋学大学 ●
サマルカンド国立大学

モンゴル *Mongolia*

モンゴル国立大学

フィリピン *Philippines*

南フィリピン大学 ●

タイ *Thailand*

タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学
プリンス・ソングラ大学
チェンマイ大学

ラオス *Laos*

ラオス国立大学

オーストラリア *Australia*

シドニー大学 ●
グリフィス大学
アデレード大学 ● ●
ボンド大学 ● ●
オーストラリア・カソリック大学 ●
ディーキン大学 ●

中国 *China*

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学 ● ●
中国国家外国專家局
上海交通大学
北京師範大学 ●
北京外国語大学
北京日本学研究中心
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学
四川外国語大学
中央民族大学 ●
遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学 ●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
龍門石窟研究院
天津外国語大学
北京語言大学 ●
対外経済貿易大学
福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学 ●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
少林寺
復旦大学文物博物館学系
西北工業大学
華南理工大學
模範のソフトウェア学院連盟
西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大学
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学
天津大学
西安科技大学
大連工業大学
遼寧科技大学

香港 *Hong Kong*

香港公開大学
嶺南大学 ●
香港浸会大学

ニュージーランド *New Zealand*

マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●
オタゴ・ポリテクニク

台湾 *Taiwan*

國立中山大学 ●
淡江大学 ● ●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大學
國立雲林科技大學
國立高雄師範大學
實踐大學
國立台灣師範大學 ●
國立政治大学 ●
元智大学 ●
輔仁大学
國立高雄大學
國立暨南國際大學
中信金融管理學院
國立中央大学
國立勤益科技大學

韓国 *Korea*

延世大学 ●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学 ●
聖公会大学社会史研究所
嘉泉大学
ソウル大学経営学部 ●
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学 ●
仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学 ● ●
誠信女子大学
韓国外国語大学 ●
中央大学 ●
建国大学 ● ●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学

ベトナム *Vietnam*

ベトナム国家大学ホーチミン市
工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
人文社会科学大学
FPT大学
ベトナム国家大学ハノイ
外国語大学
ダナン大学
フエ科学大学
貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ
経済経営大学
ホーチミン市建築大学
ホーチミン市テクノロジー大学
(HUTECH)
ホーチミン市経済大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
科学大学
ベトナム国家大学ハノイ
工科大学
ハノイ大学
ハノイ大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
情報技術大学
カントー大学
フンイエン技術師範大学
ハイフォン大学
ホーチミン市工業大学 (IUH)
日越大学
トウイロイ大学
郵政通信技術大学 (PTIT)

カナダ *Canada*

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ● ●

アメリカ合衆国 *U.S.A.*

トルーマン州立大学 ●
ベ일러大学 ●
カリフォルニア大学デヴィス校 ● ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ● ●
ボイシー州立大学 ●
サンホセ州立大学 ●
フロントボン大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●
南カリフォルニア建築大学
ガステイバス・アドルフアス大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●
メダイル大学
ポートランド州立大学 ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学 ●
ニュー・スクール大学
カンザス大学
ウィスコンシン大学リバーフォールズ校

アルゼンチン *Argentina*

国立ラプラタ大学

メキシコ *Mexico*

アナウアカ大学
グアダハラ大学 ●

バハマ *Bahamas*

バハマ大学